

# 2026年度出力制御見通しについて

2025年12月24日

九州電力送配電(株)

## [シミュレーションの前提条件]

項目		内容	備考
需要		2024年度実績データを使用	至近実績を踏まえた2025供給計画値に基づき、約0.5%増とする
太陽光	出力	2022年度実績データを使用	快晴日について、2024年度は例年より少なく、2023年度は例年より多いことから、2022年度の太陽光実績値をベースとする
	設備量	2025年9月末設備量に至近の伸びを考慮	
風力	出力	2024年度実績データを使用	
	設備量	2025年9月末設備量に至近の伸びを考慮	
供給力		2026年度補修計画を織込み	
調整火力		需給運用において、必要最小限を織込み	
域外送電		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関門連系線利用率85%※1で想定</li> <li>・再エネ電制による域外送電量拡大効果※2を織込み</li> </ul>	<p>※1 至近実績を踏まえ利用率の低下リスクを考慮した値</p> <p>※2 再エネ出力制御量に対し1割程度の削減効果を反映</p>

# 1. 2026年度の九州本土の再エネ出力制御見通し

2

- 2026年度の九州本土の出力制御率は、再エネ全体で6.9%程度の見込み。

## 〈2026年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）【太陽光・風力それぞれの出力制御率】※1					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2026年度見込み	<b>13.0%※2 (4.7億kWh)</b> 〔太陽光: 13.7%〕 〔風 力: 2.8%〕	<b>7.3% (3.4億kWh)</b> 〔太陽光: 7.5%〕 〔風 力: 2.3%〕	<b>2.3% (0.0億kWh)</b> 〔太陽光: -〕 〔風 力: 2.3%〕	<b>9.0% (5.6億kWh)</b> 〔太陽光: 10.3%〕 〔風 力: 2.3%〕	<b>9.5%※2 (13.8億kWh)</b> 〔太陽光: 10.2%〕 〔風 力: 2.4%〕	<b>6.9%※3 (12.2億kWh)</b> 〔太陽光: 7.3%〕 〔風 力: 2.4%〕
(参考) 2026年度 エリア全体 オンライン化	<b>8.8% (7.3億kWh)</b> 〔太陽光: 9.2%〕 〔風 力: 2.3%〕		<b>2.3% (0.0億kWh)</b> 〔太陽光: -〕 〔風 力: 2.3%〕	<b>7.9% (4.9億kWh)</b> 〔太陽光: 8.9%〕 〔風 力: 2.3%〕	<b>8.4% (12.2億kWh)</b> 〔太陽光: 9.0%〕 〔風 力: 2.3%〕	<b>6.9% (12.2億kWh)</b> 〔太陽光: 7.3%〕 〔風 力: 2.3%〕

※1 各区分の出力制御量／各区分の総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は10kW未満の出力制御対象外設備を含む総発電量(出力制御量含み)に対する出力制御量の割合を示す。

※2 オンライン代理制御分の出力制御率(制御電力量)は、オフライン相当(8~10時間)の制御時間に換算した値で算出。

※3 出力制御時間は、出力制御実態を踏まえ月ごとに変更したものを反映。

第4回次世代電力系統WG（2025年9月24日）参考資料1-9 より抜粋

## 1. 2025年度の九州本土の再エネ出力制御見通し

2

- 前頁記載の前提条件および足元の実績を反映した結果、2025年度九州本土における再エネ（太陽光・風力）の総発電量に占める出力制御率は5.9%程度となる見通し。

### 〈2025年度出力制御見通し〉

	出力制御率（制御電力量）【太陽光・風力それぞれの出力制御率】※1					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備
	オフライン	オンライン				
2025年度見込み	10.0%※2 (4.1億kWh) 〔太陽光：11.4% 風力：3.4%〕	6.7% (3.1億kWh) 〔太陽光：6.8% 風力：2.8%〕	2.7% (0.0億kWh) 〔太陽光：－ 風力：2.8%〕	8.8% (4.2億kWh) 〔太陽光：8.8% 風力：2.8%〕	8.3%※2 (11.4億kWh) 〔太陽光：8.6% 風力：3.2%〕	5.9%※3 (10.0億kWh) 〔太陽光：6.1% 風力：3.1%〕
(参考) 2025年度 エリア全体 オンライン化	7.2% (6.4億kWh) 〔太陽光：7.6% 風力：2.8%〕	2.7% (0.0億kWh) 〔太陽光：－ 風力：2.8%〕	7.5% (3.6億kWh) 〔太陽光：7.6% 風力：2.8%〕	7.2% (10.0億kWh) 〔太陽光：7.6% 風力：2.8%〕	5.9% (10.0億kWh) 〔太陽光：6.1% 風力：2.8%〕	

※1 各区分の出力制御量／各区分の総発電量(出力制御量含み)にて算出。全設備は10kW未満の出力制御対象外設備を含む総発電量(出力制御量含み)に対する出力制御量の割合を示す。

※2 オンライン代理制御分の出力制御率（制御電力量）は、オフライン相当（8～9時間）の制御時間に換算した値で算出。

※3 実際の制御時間で評価した値。

### 〈2025年度出力制御見通し（全設備）の内訳〉

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	8.8% (5.7億kWh) 〔太陽光：9.0% 風力：5.5%〕	4.1% (4.3億kWh) 〔太陽光：4.3% 風力：1.7%〕	5.9% (10.0億kWh) 〔太陽光：6.1% 風力：2.7%〕

# 1. 2026年度の九州本土の再エネ出力制御見通し

〈短期見通し算定における制御量最大時の需給バランス〉

単位：万kW

		2026年5月13時
	電力需要	733
発電 出力	火力（調整電源）	74
	火力（非調整電源）	44
	再エネ	
	太陽光	1,049
	風力	6
	一般水力	45
	地熱	20
	地域・専焼バイオマス	66
	原子力	412
	揚水、蓄電池	▲227
	地域間連系線	▲172
	太陽光・風力出力制御	▲584
	計	733

※太陽光、風力は出力制御前の数値

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

# (参考) 電源(太陽光、風力)のオンライン化状況

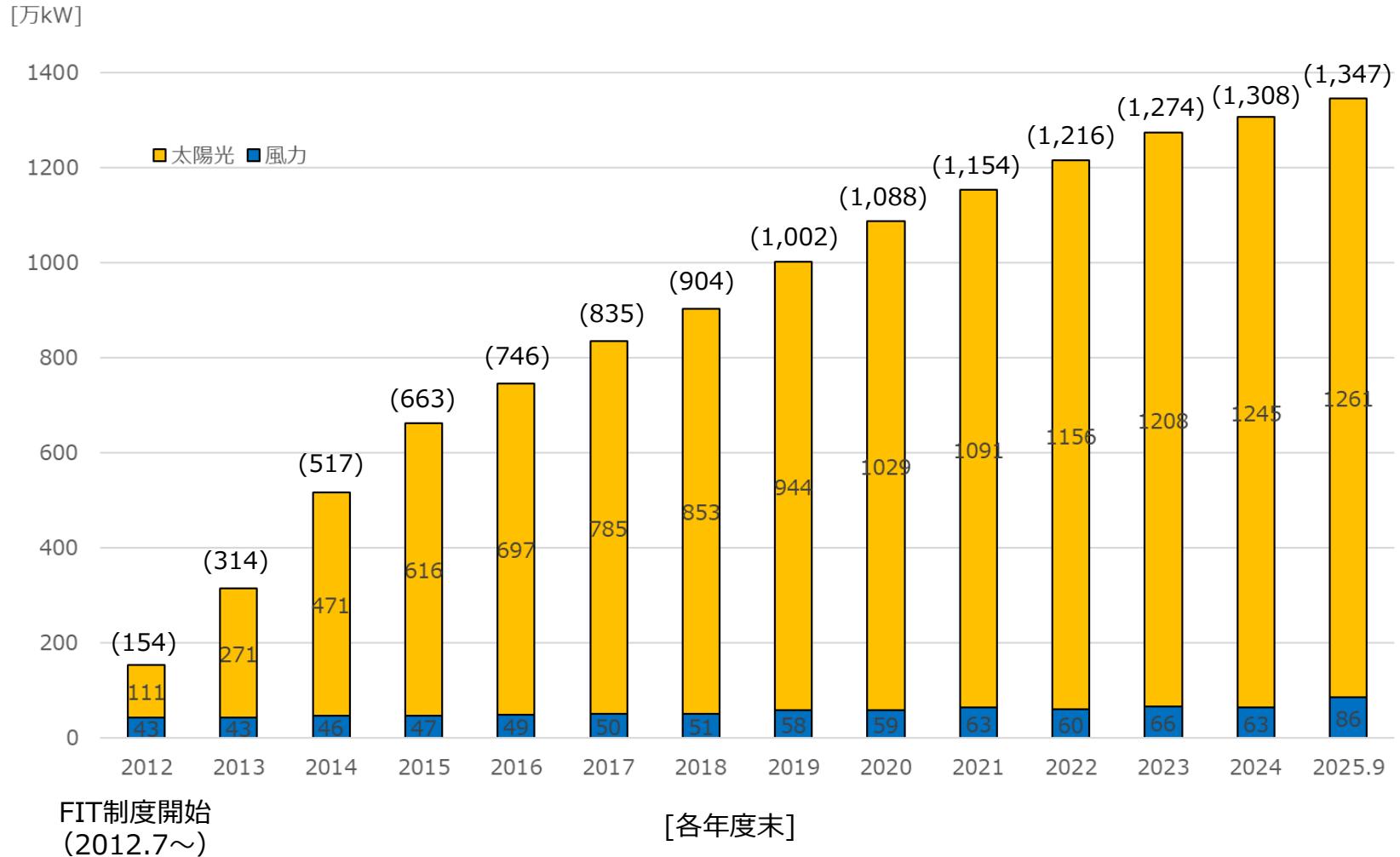
## [九州エリアにおけるオンライン化の状況]

(万kW)

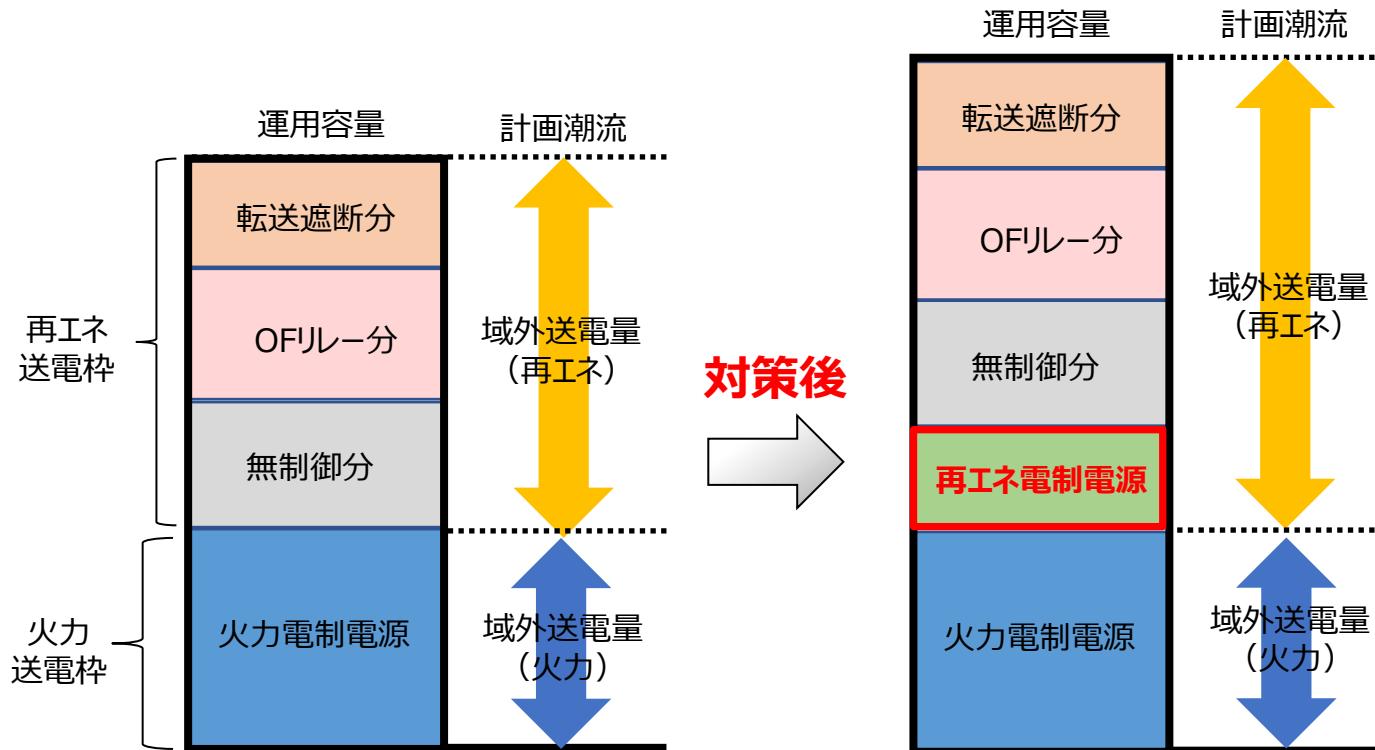
		2025年9月末	(参考)2025年3月末
太 陽 光	①オンライン比率 $((②+④)) / ((②+③+④))$	90.8%	90.5%
	②新ルール・無制限無補償ルール、オンライン事業者	387.6	370.6
	③旧ルール、オフライン事業者	73.8	74.5
	④オンライン制御可能な旧ルール事業者	341.4	341.6
	⑤旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④) / ((③+④))$	82.2%	82.1%
風 力	⑥オンライン比率 $((⑦+⑨)) / ((⑦+⑧+⑨))$	63.0%	44.4%
	⑦新ルール・無制限無補償ルール、オンライン事業者	41.2	15.2
	⑧旧ルール、オフライン事業者	31.6	35.0
	⑨オンライン制御可能な旧ルール事業者	12.8	12.8
	⑩旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨) / ((⑧+⑨))$	28.8%	26.8%

※当面の出力制御対象事業者「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者(太陽光10kW以上)」について算定。

- 太陽光・風力の接続量は、2025年9月末時点で、2024年度末から+39万kW増加。



- 周波数決定要因が九州上昇側となる場合に、電源制限の対象となる太陽光・風力発電所を拡大することで、地域間連系線を通じた域外への再エネ送電可能量を増加させ、再生可能エネルギーの出力制御量の抑制を図る。



周波数決定要因が九州上昇側となる場合に、再エネ電制による域外送電量の拡大効果を織込むことで、年間の再エネ出力制御量に対して1割程度の削減効果